

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年5月29日(2024.5.29)

【公開番号】特開2024-23894(P2024-23894A)
【公開日】令和6年2月21日(2024.2.21)
【年通号数】公開公報(特許)2024-033
【出願番号】特願2023-218755(P2023-218755)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 3 C

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月21日(2024.5.21)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が実行されることにより所定事象が発生した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させる履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する態様情報を導出する情報導出手段と、

30

前記情報導出手段により導出された前記態様情報を記憶する態様情報記憶手段と、

前記態様情報記憶手段に記憶された前記態様情報に対応する表示が情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う態様情報表示制御手段と、

所定の表示契機が発生したことに基づいて、前記態様情報に対応する表示が新たに開始される前に所定対応表示が前記情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う所定対応表示制御手段と、

遊技者の有利度に対応する設定値を設定する設定手段と、

前記設定手段による前記設定値の設定を行うことが可能な設定可能状況となるようにする状況発生手段と、

40

を備え、

前記態様情報記憶手段は、複数の前記態様情報のそれぞれを記憶することを可能とするように複数の特定記憶領域を備え、

前記態様情報表示制御手段は、所定表示順序に従って前記複数の特定記憶領域に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が前記情報表示手段にて順次実行されるようにするための制御を行うものであって、前記所定対応表示が前記情報表示手段にて行われた後において前記態様情報に対応する表示を前記情報表示手段に行わせる場合には前記所定表示順序における最初の順番に対応する前記態様情報に対応する表示から開始させるものであり、

本遊技機は、各種処理を実行する制御手段を備え、

50

前記制御手段は、

プログラム記憶手段における所定アドレス範囲の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域内処理を実行する領域内処理実行手段と、

前記プログラム記憶手段における前記所定アドレス範囲の外部のアドレス範囲の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域外処理を実行する領域外処理実行手段と、

を備え、

前記領域内処理実行手段は、使用対象として設定されている前記設定値が正常であるか否かを特定可能な処理を前記領域内処理として実行可能である手段を備え、

本遊技機は、

前記領域内処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記領域外処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である領域内対応記憶領域と、

前記領域外処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記領域内処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である領域外対応記憶領域と、

を備え、

前記領域内処理実行手段は、前記設定可能状況となった場合に前記領域内対応記憶領域の所定の情報をクリア可能な構成であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示等のような遊技機においては、遊技機の管理が好適に行われる必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技機の管理を好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、遊技が実行されることにより所定事象が発生した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させる履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する状態情報を導出する情報導出手段と、

前記情報導出手段により導出された前記状態情報を記憶する状態情報記憶手段と、

前記状態情報記憶手段に記憶された前記状態情報に対応する表示が情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う状態情報表示制御手段と、

所定の表示契機が発生したことに基づいて、前記状態情報に対応する表示が新たに開始さ

10

20

30

40

50

れる前に所定対応表示が前記情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う所定対応表示制御手段と、

遊技者の有利度に対応する設定値を設定する設定手段と、

前記設定手段による前記設定値の設定を行うことが可能な設定可能状況となるようにする状況発生手段と、

を備え、

前記態様情報記憶手段は、複数の前記態様情報のそれぞれを記憶することを可能とするように複数の特定記憶領域を備え、

前記態様情報表示制御手段は、所定表示順序に従って前記複数の特定記憶領域に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が前記情報表示手段にて順次実行されるようにするための制御を行うものであって、前記所定対応表示が前記情報表示手段にて行われた後において前記態様情報に対応する表示を前記情報表示手段に行わせる場合には前記所定表示順序における最初の順番に対応する前記態様情報に対応する表示から開始させるものであり、

10

本遊技機は、各種処理を実行する制御手段を備え、

前記制御手段は、

プログラム記憶手段における所定アドレス範囲の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域内処理を実行する領域内処理実行手段と、

前記プログラム記憶手段における前記所定アドレス範囲の外部のアドレス範囲の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域外処理を実行する領域外処理実行手段と、

20

を備え、

前記領域内処理実行手段は、使用対象として設定されている前記設定値が正常であるか否かを特定可能な処理を前記領域内処理として実行可能である手段を備え、

本遊技機は、

前記領域内処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記領域外処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である領域内対応記憶領域と、

前記領域外処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記領域内処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である領域外対応記憶領域と、

30

を備え、

前記領域内処理実行手段は、前記設定可能状況となった場合に前記領域内対応記憶領域の所定の情報をクリア可能な構成であることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

40

本発明によれば、遊技機の管理を好適に行うことが可能となる。